

# 「介護料月4万円あがった」の悲鳴を代弁



2015年10月11日  
-7号  
発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子  
<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

## 介護料月4万円あがった

県議会九月定例会は、9月14日から10月6日まで開かれ、10月2日開かれた厚生環境常任委員会で子育て支援と高齢者介護について取り上げました。子育て支援の分野では、保育士確保の補正予算の内容とサポートプログラムの検討状況について質しました。玉木康雄子育て推進課長は「若年保育士の正規雇用を増加させた保育所に対する奨励金について、当初17名分見込んでいたが、58名となったため、追加補正するもの」「保育士の確保、定着、再就職支援などについて保育士養成機関を含め、関係者から意見を聞いて協議、検討を進めており、今年度中に保育士サポートプログラムを策定したい」と答えました。

また、子ども子育て新システムによる補正についての県負担の動向と財源確保について質問しました。玉木課長は「新制度により保育事業や幼稚園、放課後児童クラブなどに関する対象や財源の改変があったため、県の財源については、国の支出金



10月1日 山形市内で行われた戦争法反対の夕方デモ

介護保険制度の見直し、改悪で8月から特別養護老人ホーム利用者の食費、居住費の負担軽減(補足給付)の認定要件が変更され、対象から外れた方々の料金が大幅に上がっています。月

## 介護料月4万円あがった

私は、さらに安倍首相が記者会見で「介護離職ゼロを目指し、介護施設の整備や看護人材の育成を進め、在宅介護の負担を軽減する」と発言したことに関し、稲垣課長は「政府としての具体的な方向性はまだ示されていない。現在は、市町村から積み上げた計画に基づいて進めていく」と答えるにとどまりました。

稲垣英明健康長寿推進課長は、「7月は13121件だが8月は10836件で県内の認定差は2285件であり、2285人になっている」と答えました。私は、「今人所利用している方の負担が重くなるだけでなく、今後の入所や利用を抑制することにつながる」と指摘し、更に高齢者虐待の調査の中で県の独自調査の概要について質問しました。稲垣課長は「家庭における虐待の183事例によるものだが、虐待者の約6割が無職のうち60歳未満が約4割を占めている。また、虐待者の4割が経済的困窮が疑われる状態」と答えました。

## 戦争法廃止 軍団的自衛権撤回を!



私は、「施設増設をはじめとした高齢者介護の充実が自治体も国ももっと取り組むべきだ」と主張しました。今後、関係者の声を届けてともに運動していきます。

## ゆり子の視点

### 秋の行事 平和でこそ

9月から11月にかけて様々な地域、団体活動発表など公民館やコミュニティセンター、スポーツ館やコミニティセンター、山形市では10月8日から15日まで大会、文化祭、いも煮会などが多数開かれます。みなさん参加すること、ほんとうに楽しんでいるのではないのでしょうか。戦後70年、生活を豊かにしていきましょう。戦後70年、平和な生活を送りたいと思います。



街頭から訴える阿曾隆市議と渡辺ゆり子県議